

兵庫きのこ「スライド会」は盛り上がった No1

2020.8.30新長田勤労市民センター別館ピフレホール 会議室A

今年度の兵庫きのこのスライド会は、コロナ禍の収束が見えない中、神戸市新長田のピフレホールで20名の参加をえて、消毒、検温、ソーシャルディスタンスを確保しながら、開催されました。1年間(今までの)研究成果を発表したのは5名+1名(無理やり登壇していただいた飯田先生)で活発な論議や質問がありました。

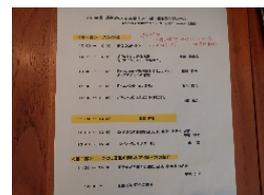
では、「スライド会」の力作を一部紹介したいと思います。

・ 午前の部 10:00~12:00

1 ①「懐かしの行事風景」 土屋 規麻太

研究会の懐かしいイベント行事。亡くなられた方や退会された方々の懐かしい姿があり、山菜の会での楽しい会話風景や駒打ち(まだチェーンソーがない時期)風景が、昨日のこのように思いだされました。

本当に皆さんの若々しく楽しそうな表情が素敵でした。



②「気になるきのこの図鑑風？」 土屋 規麻太

当研究会の写真撮影者の第一人者の土屋さんが、いままでストックされた図鑑風?の作品。素晴らしい写真がネットからの借用で発表することを躊躇されてきましたが、あまりにも美しい図鑑風でしたので、発表をお願いしました。

珍しいきのこが沢山あり、解説とともに土屋さんの性格を反映して、心温まる優しい発表でした。



2 「きのこのヒダ数を計測するコンピュータープログラムの作成」 三輪 哲也

昨年に続き、バージョンアップの発表です。ヒダの数?疎、密は図鑑にも掲載されていて馴染みある表現ですが、数となると全く思いつかない私です。

昨年の反省点(ヒダを読み取れないことがある)をふまえ、プログラムの変更を行い、改善に成功。市販のバナシメジを用いて、ヒダ数の解説。さすが、我が研究会のHPを作り替えた能力はすごいです。意見として、「計測する位置を柄に近い場所にするによって、同じ種類のヒダ数の計測のばらつきが防げるのではないか」がありました。



3 「アルバのトリュフ祭り」 古川 憲治

今回の発表はイタリア北部の「アルバのトリュフ祭り」の報告です。毎年海外旅行をされているので、沢山の写真とともに、現地の雰囲気も説明されるので、あたかも旅行に行ったような気分になります。

初めて食べたトリュフ入りコッペパンの匂いはガーリックの匂いがしたとのことでした。



4 ①「あいなきのこ2019-2020より」 中嶋 知之

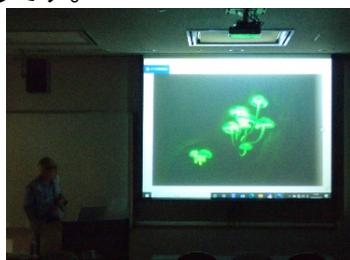
藍那公園のキノコの報告。10数年にわたる活動に何時も頭が下がります。藍那での市民向けのイベントや活動を通して、キノコの魅力を発信する中嶋さん。「今回は地味なキノコ」ですと言われていましたが、地道な藍那での研究成果を見せていただきました。



5 「シイトモシビタケ 他」 小山 繁

初めての報告です。有名な再度山の「シイトモシビタケ」の美しい写真です。プロ並みの写真は極上です。

最近、新聞にも紹介され、マニアが殺到する状況にいや気がして、この3年ほどは撮影をしていないそうです。



兵庫きのこ「スライド会」は盛り上がった No2

2020.8.31新長田勤労市民センター別館ピフレホール 会議室A

・ 午後の部 13:00~14:30

6「小鉢には」 彼末 れい子(橋本 例子) 朗読 山上 美和

彼末(橋本)さんは、当会のイベントには、必ず登場される方です。今までも、太極拳、笛などを会員の皆様に披露されています。でも本当は、詩が本職(?)ではないかと思えます。

「小鉢には 遠くのを盛ろうと思う」から「時間に似たようなものが 頭骸骨の中で 崩れる音がする」まで、私のような高齢者には身に沁みます。朗読の山上さん、直前に朗読をお願いして申し訳ありませんでした。



7 ②「きのこの名前検定(初級、中級、上級 各10問)」 中嶋 知之

「きたー」きのこ検定。山上さんがよく出題されていました。何問できるかな。初級・中級は、皆さんそれなりにほぼ正解しておられました。

でも、上級は1問正解の方がほとんどでした。やっぱりきのこは難しいですね。ちなみに、中級が正解できればキノコ検定1級は取れるそうです。皆さん挑戦してみましょう。



8 「現在のコロナの状況について」 飯田 哲也

本日で一番盛り上がった内容でした。やはりホットな話題ですので関心が高い！当日、直前をお願いして、専門が細菌感染症学で、ウイルスは専門外と仰っていましたが、現在のコロナの状況について解説していただきました。

PCの中から、学会の資料でも公開しても良い資料に基づき、分かりやすいお話をしていただきました。コロナそのものが、まだ何かよく分からないという前提で、先生のお話を勝手にまとめると

- ① マスコミ、メディアの報道姿勢が、不安感を煽っている。
- ② コロナによる日本(アジア)の死者数が、諸外国(欧米等)に比べると、圧倒的に少ない。
- ③ 日本でインフルエンザや癌でなくなる方の数を比較すると、コロナに対する考え方が解る(病気を正しく理解し、予防するのは必要。インフルエンザ感染者数年間約1000万人、死者数年間1万人(関連死を含む)、癌でなくなる方一日約1000人、正月で餅を詰めて亡くなる方約1300人)
- ④ 無数の情報があるが、自分が正しいと判断する情報を複数得ること。

とても良い納得できるお話でした。

皆さん、コロナを正しく理解し、用心し、病院も適切に行きましょう。



9 「研究会が所蔵する図鑑、辞典、参考書の紹介」 中嶋 知之

研究会が所蔵する図鑑等を紹介してもらいました。これだけの図書があるとは知りませんでした。借用希望者の方は連絡していただければ貸し出すとのことです。

また、所蔵する図書の表紙と目次を、研究会のHPに掲載する方向で進めたい、と報告がありました。

